



### 3. 活動内容

#### 1 玉川太鼓（和太鼓）の演奏活動

玉川中学校の誇りを高め、地域に活気を生み出すための活動として活動している。また、活動自体が持続可能で自治的なものとなるように練習や演奏会を行っている。

##### (1) 生徒による演奏技術等の継承

- ・ 4月に「新入生バチ伝達式」を実施し、太鼓活動への思いと技の伝承を開始。
- ・ 週1回程度の全校生徒による練習。上級生と下級生のペアによる練習。
- ・ 新曲（専門講師作曲）練習での生徒によるたたき方や姿勢の工夫。
- ・ 2月生徒集会では、太鼓活動の更なる発展を目指して、全校生徒によるフリートークを実施。

##### (2) 地域内外での積極的な演奏活動

<学校内の発表>

- ・ 新入生も含めて5月の茶摘み 歓迎太鼓演奏（5月）
- ・ 玉川中学校学習発表会 歓迎太鼓演奏（11月）
- ・ 東海北陸地区へき地・小規模校研究大会  
歓迎太鼓演奏（11月）



<地域内・周辺での発表>

- ・ 長光寺山あじさい祭 演奏（6月）
- ・ 特別養護老人ホーム「カリタス21」訪問演奏（7月）
- ・ 玉川地区大運動会 演奏（9月）※地区小学校・中学校の合同開催
- ・ 地域交流館「安倍ごころ」秋の紅葉祭り 演奏（11月）

<地域外・市街地での演奏>

- ・ 中部東ブロックユネスコ大会 歓迎演奏（9月）
- ・ 徳川家康顕彰400年祭駿府脚勢揃い 演奏（10月）
- ・ 静岡市立小・中学校音楽学習交流会 発表（11月）



##### (3) 学校HPの動画をリニューアル（世界へ発信）

##### (4) 技術向上のための練習

- ・ 打楽器の専門講師の指導（6月・10月・2月）による技術の向上。

#### 2 茶の生産活動

茶の栽培を通して地域産業への理解を深め、地域への誇りを高め、働くことの意義や大切さを学んでいる。また、生産したお茶を太鼓演奏時に参加者に贈呈するなどして、地域の良さを地域外へ発信している。

##### (1) 茶の栽培と記録

- ・ 4月当初より茶の観察記録をとり、成長を促すための施肥を実施。
- ・ 生育に合わせて2回の茶摘み実施。学校応援団を含めた保護者の協力を得た。
- ・ 秋から冬にかけて施肥や草取りなどを定期的に行い、年間を通じて生徒による茶の栽培を継続。



##### (2) 袋詰め作業と製茶の利用

- ・ 製茶後、袋詰め作業（6月）を実施。
- ・ 地域外での太鼓演奏時に、地域の特産として参加者に贈呈。
- ・ 日常の学校生活の飲用として利用。
- ・ 一部を学校職員や保護者に買い取っていただき、次年度の肥料代や袋代などとして利用。



### 3 体験学習と一人一テーマの個別探究

総合的な学習の時間を利用して、地域産業や職場体験、さらに将来を見通してのテーマ学習を個々に進めている。

#### (1) 1年地域産業体験学習・2年職場体験学習・3年修学旅行

- ・1年生は「地域産業体験学習(5月)」を3日間実施。働くことへの認識を高め地域産業への理解を深め、地域とのつながりを持つ機会とした。
- ・2年生は「職場体験学習(5月)」を3日間実施。都市部での職場体験を通して、働くことの大切さや厳しさ、社会人としてのルールやマナーを学んだ。
- ・3年生は修学旅行を通して、日本文化を理解するとともに、社会とのつながりを意識し、身につけた社会性を実践する場とした。

#### (2) 一人一テーマの個別探究

- ・生徒個々の関心事や各学年の体験学習や職業選択をふまえて、個別のテーマを設定し学習を進めた。
- ・テーマを分類すると、「地域の自然や環境」「地域の課題」「伝統文化とルーツ」「社会問題」「人間の体と健康」など多岐にわたり、それぞれが専門家等の話を聞いたり、調査学習を展開したりすることで進めた。
- ・研究成果は、個々がPCのプレゼンテーションソフトでまとめ、学習発表会(11月)において保護者・地域住民・関係者(学校関係者や専門家)に向けて発表。また、レポートを作成し冊子としてまとめた。



#### (2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )